《問診票　男性用》

記入日　20　　年　　月　　日

ID：　　氏名：

生年月日　：　西暦　　年　　月　　日（　　歳）

奥様 氏名：　　（　　歳）

身長：　　cm	体重：　　kg	血液型：　　型（Rh　　）		
職業：				
受診理由 （気になること）	□男性不妊検査　□男性不妊治療（無精子症、射精障害、EDなど） □泌尿器科専門外来受診希望　□体外受精・顕微授精希望 □相談（　　）□その他（　　）			
結婚について	□　結婚　（西暦　　年　　月） □　事実婚　（西暦　　年　　月） □　未婚　＊入籍予定:□なし　□あり（西暦　　年　　月頃） □　再婚　（西暦　　年　　月）			
個人歴について	不妊期間　□なし　□あり　（　　年）			
	子供　□なし　□あり　（　　歳）			
不妊検査・治療について	精液検査	□ない		
		□ある　（□正常　□異常（　　））		
	男性不妊の治療	□ない		
		□ある（治療内容　　）		
性機能について	性欲	□ある　□ない方　□ない		
	性交渉	□できる（　　回/月）　□困難		
	勃起	□する　□しない		
	射精（腟内で）	□可能　□やや困難　□困難		
	射精（マスターベーションで）	□可能　□やや困難　□困難		
病歴について	下記の症状・病気・手術　（□ない　□ある） □停留睾丸手術　□鼠径ヘルニア(脱腸)手術 □陰嚢水腫(睾丸の袋に水がたまる)　□流行性耳下腺炎（おたふくかぜ ） □尿道炎　□前立腺炎　□性病　（　　） □高血圧　□高脂血症　□B型肝炎　□C型肝炎 ＊いつ頃どのような治療をされたかお書き下さい。			
薬について	下記の薬の内服　（□ない　□ある） □高血圧治療薬　□高脂血症治療薬 □肝炎治療薬　□抗ウイルス剤　□乾癬治療薬　□痛風治療薬　□抗癌剤 □育毛剤　□免疫抑制剤　□その他(　　) ＊薬の名前をお書きください。(避妊が必要な薬があります)			
	内服薬や注射でのアレルギーの経験　（□ない　□ある） ＊ ある方は、薬の名前 ・ 症状を詳しくお書き下さい。			
喫煙について	タバコを吸われていますか　□ いいえ　□ はい（　　本／日、　　年間）			

採血・注射について

不妊治療を行う上で、採血・注射は、必要な医療行為です。
採血・注射は多少の痛みを伴いますが、安全性の高い手技です。しかし、稀に副作用が起こる可能性があります。副作用は軽症のものが多いとされていますが、ごく稀に次のような健康被害を生じることがあります。副作用は、100%防止することはできませんが、患者様にできるだけ苦痛なく治療を受けていただけるように、予防策を講じ慎重に実施しています。また、患者様ご自身にもご協力いただきたいことがございますので下記ご参照ください。
万が一下記のような症状により院内で治療したり、他科を受診する場合の診療や治療の費用は、自己負担になります。
採血・注射の必要性・危険性・注意事項を十分ご理解の上、採血・注射をお受けいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

■皮下出血(内出血)・皮下血腫
皮下出血は、0.9%(約 1/100 人)の頻度で起こる可能性があります。また、極稀にしばらく経ってから皮下血腫により神経を圧迫し、しびれ感など神経損傷が起こる場合があります。皮下出血・皮下血腫の原因は、針を抜いた後の不十分な止血があげられます。また、体調や、治療上血液をサラサラにする治療をされている場合には血が止まり難い場合もあります。
針を抜いた後は、**必ず５分以上親指で圧迫止血**してください。
また、一度止血しても再度出血する場合がありますので、採血・注射を受けられた日は、針を刺した側の腕に強い力をかけるような動作は避けてください。

■神経損傷
神経損傷は、0.01%（1/10000 人）の頻度で起こる可能性があります。皮膚層近くの神経は個人差が大きく、前もってその場所と走行を確認することはできません。針を刺した時に、手指に拡がる痛み、しびれ感、筋力低下などが生じ、その後も一定期間症状が持続することがあります。通常の採血・注射では太い神経の断裂などの可能性は低く損傷は軽度で症状は一時的な場合がほとんどです。採血・注射時に、しびれ感を感じられるようであれば直ちに施行者に伝えてください。
採血においては、短い針（翼状針）を使用し神経損傷が起こりにくいよう予防に努めています。
また、排卵誘発剤（HMG）・HCG 注射は、従来筋肉注射として投与しておりましたが、海外ではすでに皮下注射で投与され効果が変わらないことが明らかになっていることより当院では、神経損傷等の発生頻度を低下させるため皮下注射で投与しています。

■血管迷走神経反応
血管迷走神経反応は、心理的に緊張、不安が強いと起こりやすいとされ、0.01%～1%の頻度で起こるといわれています。急激に血圧が下がることにより、めまい、気分不快感、意識喪失などの症状が生じることがあります。

■アレルギー
アルコール消毒薬によるアレルギーにより、かゆみ、発疹、発赤などが起こることがあります。アルコール綿アレルギーの既往がある方は、採血・注射前にその都度申し出てください。別の消毒薬に変える事が出来ます。また、他にも薬剤によるアレルギー反応により、血圧低下、ショック症状などが出現することがあります。アレルギーの既往がある方は、予めお申しでください。

HORAC グランフロント大阪クリニック　院長　森本　義晴

年　月　日

ID　　氏名